

講師
櫻井 裕介

■ 学歴

1. 2013 年 学校法人中村学園中村学園大学大学院人間発達学研究科修士課程修了

■ 学位

1. 2013 年 修士（人間発達学）

■ 研究分野

1. 保育学
2. 幼児教育学

■ 研究キーワード

1. 保育
2. 幼児教育
3. 熟達化

■ 研究課題

1. 保育者の成長プロセス
2. 保育活動における保育者の役割

■ 担当授業科目

※該当なし（2024 年度入職）

■ 授業を行う上で工夫した事項

※該当なし（2024 年度入職）

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2011 年～	日本保育学会	
2.	2016 年～	保育者養成教育学会	広報委員（2021 年～現在に至る）
3.			

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要

(著書)					
1.	2016.2	保育表現技術の実践ワーク「かんじる・かんがえる・つくる・つたえる	分担執筆	保育出版社	保育士養成課程に所属する学生向けテキストを執筆した。保育における表現援助技術を身に着けていくことを目標に、①学生の能動的な学びを引き出す。②学生同士の評価や実践を取り入れる。③学生の自発性を重要視する。④ワークブック形式により、学生と教員がともに成長する。以上の4点を視点に、実践例やエピソードを取り入れた保育内容に関するテキストである。(編著：今井真理，共著者：長谷川恭子，麓洋介，新関伸也， <u>櫻井裕介</u> ，福井一尊他 16 名，担当執筆部分：第2章3項
2.	2017.12	新教育課程総論ワークブックー平成30年保育所保育指針・幼稚園教育要領対応ー	単著	權歌書房	改定保育所保育指針・改訂幼稚園教育要領に対応した全体的な計画及び教育課程の授業理解を深めるための書き込み式ワークブックである。
3.	2020.3	保育所における自己評価ガイドライン研修テキスト	分担執筆	厚生労働省	保育所における自己評価ガイドラインとハンドブックの解説書である。その後の同省研修テキストの執筆と研修講師を行った。(石井章仁、遠藤純子、田澤里喜、 <u>櫻井裕介</u> 他)
4.	2020.3	ワークシートで学ぶ保育所実習	分担執筆	同文書院	保育所実習テキストであり、P62-65、93-94、保育環境と実習課題についての内容である。(那須伸樹、相浦雅子、原孝成、 <u>櫻井裕介</u> 他)
(学術論文)					
1.	2012.4	保育実践における協同活動を活性化させる足場づくりの在り方	単著	福岡こども短期大学研究紀要（福岡こども短期大学研究紀要編集委員会），第23号，39-44.	造形活動を通し協同性を育むための保育計画、保育者の援助について保育実践をもとに考察した。子どもが主体的な活動を創造し、協同活動の中で成長していくための保育者の足場づくりについてヴィゴツキーによる社会文化的アプローチの視点から捉えた。保育者は子どもが他者を理解し、自分を調整して目的に

					向かって協同活動が進むような援助を行う必要があり、保育実践例から活動内容と指導計画の実際と留意点を考察した。
2.	2013.4	保育者を志望する短期大学生の2年間におけるこどもイメージの変化に関する縦断的研究	単著	福岡こども短期大学研究紀要（福岡こども短期大学研究紀要編集委員会），第24号, 25-28.	福岡こども短期大学研究紀要（福岡こども短期大学研究紀要編集委員会），第24号, 25-28.
3.	2014.4	保育者を志望する短期大学生の2年間における保育者効力感の変化に関する縦断的研究	単著	福岡こども短期大学研究紀要（福岡こども短期大学研究紀要編集委員会），第25号, 57-61.	保育者を志望する学生90名を対象に保育者効力感について質問紙調査を行った。量的分析とともに4ステップコーディング（SCAT）による質的分析を行い、量的には表れない学生の内面の変化を質的に考察した。学生は専門的知識や技術を学ぶ中で困難や不安に直面する。その困難を課題として受け止めるか、学習意欲の低下につながるのかという岐路に授業理解度が影響していることが解った。櫻井（2013）のこどもイメージとの関連からも、実習体験の受け取り方に授業の受け取り方、授業理解度が影響していることを読み取ることができた。
4.	2015.3	保育者の専門性研究の動向と課題	単著	道都大学紀要社会福祉学部（道都大学図書紀要編集委員会），第40号, 89-96.	平成23年度の保育士養成課程改正により、保育原理と保育者論が細分化された。これまでも多くの保育者専門性研究が行われきているが、保育者の専門性とし内容を明示しているものはない。テキストや先行研究を精査し8つの共通するキーワードを捉えた。子どもの実態を把握し、発達や生活援助ができること。先を見通した保育計画を立て、それに基づいた環境を構成し保育者間の人間関係を構築でき、積極的に保育に取り組めること。また保護者や地域との良好な関係構築ができるという保育者像である。

5.	2015.3	大学生の児童虐待への意識変化－オレンジリボン活動の調査から－	共著	道都大学紀要社会福祉学部（道都大学図書紀要編集委員会），第 40 号，1-7.	児童虐待防止活動の一環として学生によるオレンジリボン活動を行った。児童虐待についての講義、グループワーク、リボンや掲示物の作成を行い学園祭で発表を行った。また北広島市保健福祉部とも連携し市が主催する講演会でも発表を行った。その活動を通して学生の意識変化と成長の軌跡を実践報告としてまとめたものである。（飯浜浩幸，小早川俊哉， <u>櫻井裕介</u> ，他 5 名，pp.1－7. 共同研究により抽出不可能）
6.	2016.3	幼稚園教育要領改訂に向けた教育課程の予備的考察	単著	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要，第 49 号，193-199.（査読有）	平成 30 年実施予定の幼稚園教育要領改訂、保育所保育指針改定による、教育課程と保育課程（全体的な計画）の改訂・改定点を考察したものである。1956 年から実施された幼稚園教育要領の概ね 10 年毎の改訂による、教育課程に関する箇所とこれまでの文部科学省中央教育審議会や厚生労働省社会保障審議会などの報告書をもとに今後の教育課程、全体的な計画の方向性を予備的に考察した。
7.	2018.2	幼稚園における園長による主任保育者選定プロセスの TEM 分析	単著	中村学園大学発達支援センター研究紀要，第 9 号，51-57.（査読有）	幼稚園における園長による主任選定プロセスを質的に分析した。現在キャリアパス研修などが行われているが、実際の保育・幼児教育実践の営みの中で求められる主任力を明らかにすることで保育者の成長過程を明らかにすることを目的としている。保育所でも同様の調査を行っている。今後調査件数を増やし、主任に求められる力を明らかにすることで、現職者研修内容の構築と保育者のリカレント教育などにつなげる研究である。
8.	2018.3	学外実習における言語表現教材の実践状況についての調査研究Ⅱ－	共著	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要，第 50 号，29-36.（査読有）	幼稚園教育実習と保育所実習の各初回の比較を行った。学生も実習準備を行い、指導通りに言語表現教材を持参した経験は少なくはなかった。しかし、実習先での指導に差があることが明らかになった。今後、学内の実習担当者と実習

		保育者養成課程における全5実習の比較を中心にー			先での担当者との関係を密にし、実習指導内容についての相互理解を深める重要性が示唆された。(松尾智則、増田隆、永渕美香子、川俣沙織、 <u>櫻井裕介</u>) データ入力分・析担当
9.	2019.3	D 保育所における園長による主任保育者選定プロセスのTEM分析	単著	D 保育所における園長による主任保育者選定プロセスの TEM 分析	D 保育所における主任選定プロセスを質的研究によって明らかにした。D 保育所では保育所の方針の理解とその実践を体現できる保育者であること。また、それらを実践のみでなく伝えられる力が必要と考えていることが分かった
10.	2019.3	幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識	共著	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要, 第 51 号, 17-31. (査読有)	幼稚園教育実習における、学生の実習体験内容について、幼稚園側の準備する経験内容について調査したものである。これらをもとに学内実習指導内容の精査と幼稚園と大学の要望の差異を明らかにした。(松尾智則、古賀和博、永渕美香子、 <u>櫻井裕介</u>) データ分析担当。
11.	2020.3	幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識 2 -佐賀県・大分県調査-	共著	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要, 第 52 号, 11-27. (査読有)	平成 30 年に行った同調査について、地域差があるのではないかと範囲を広げ再調査、分析を行った。 有意な差異は見られなかったことにより、幼稚園教育実習としての本学科の実習指導に誤りがなかったことが確認できた。
12.	2020.3	保育原理と他科目の架橋を通した学生の理解を深める取り組み	単著	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要, 第 52 号, 147-151. (査読有)	保育原理を制度や思想家の暗記科目と捉える学生がいることを感じ、教育課程総論、保育内容総論との往還を通じて理解深化に努めた。暗記ではなく、保育者になる者として知っておかなければならない歴史、考え方、制度という捉え方がみられた。
13.	2020.3	E 幼稚園における園長による主任保育者選定の視点 - TEM 分析を通して	単著	中村学園大学発達支援センター研究紀要, 第 11 号, 13-18. (査読有)	E 幼稚園における主任教諭選定プロセスを質的分析で明らかにした。E 幼稚園では、基本的には年功序列での職位決定を基本としていた。経歴が同じ場合は、生活環境を加味して無理なく仕事に取り組める職場環境づくりに注力していた。

14.	2021.3	学外実習の代替となる学内実習の概要と展開：ICTを活用した保育現場との協働による学内実習プログラムの構築	共著	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要, 第 53 号, 157-165. (査読有)	突然のコロナ禍に見舞われ、保育実習の中断や中止が相次いだ。その折に WEB ツールを用いた保育現場との中継や園長とのリアルタイムのやり取りなど実習単位と同等の時間と学びを確保可能な計画と実践について報告したものである。(山下雅佳実、永渕美香子、 <u>櫻井裕介</u> 、川俣沙織、井上聡)
15.	2021.3	主任保育者に求められる能力の調査-先行研究を中心に-	単著	中村学園大学発達支援センター研究紀要, 第 12 号, 9-14. (査読有)	各種研修や先行研究を中心に、主任保育者に求められる能力についてキーワードのように端的に言葉を抽出した。今後の自身の研究の基礎的な部分となる。
16.	2022.3	幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識4：九州7県調査結果	共著	中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要, 第 54 号, 7-24. (査読有)	継続研究であり、これまでの幼稚園実習に関する幼稚園側の実習、実習生に対する意識調査である。養成校側からの実習の意義、内容について説明や丁寧な文書での案内の必要性が明らかになった。 (松尾智則、宮坂明、永渕美香子、 <u>櫻井裕介</u>) データ分析担当。
17.	2022.12	先行研究からみる保育の質	単著	中村学園大学発達支援センター研究紀要, 第 14 号, 55-59. (査読有)	先行研究から保育の質について考察したものである。制度的な質、サービスの側面と事例研究を中心とした実質的な保育の質、また各種評価を基にした基準から捉える保育。子どもにとっての保育の質を考えるための基礎的資料となった。
18.	2024. 9	保育施設における園内研修の実践	単著	西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部教職論集, 第 3 号, 80-85.	保育施設での自己評価につながることを目的に、年間を通して7回の園内研修の実践記録である。法人理念や保育方針から、実際の保育活動での子供の学びや保育の視点について、園での実際の保育活動や環境をもとに具体的な研修を構成・実施して、実現可能な改善の取り組みを行った。

(翻訳)

1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.	2019.3	園長による 主任保育者 選定の視点- H 保育所,D 保育所,C 幼 稚園の事例-	単	日本保育者養成 教育学会 第 3 回研究大会 口 頭発表	主任保育士を選定する園長の視点を研 究していたものを整理した。これまでの 質的研究で得た内容をキーワード的に まとめたものである。
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.	児童養護施設入所児童とメンタルヘルス問題のある親との家族再統合に関する研究	科研費	○飯浜浩幸(星槎道都大学) 杉本 大輔(星槎道都大学) 上原 正希(星槎道都大学) 福富 律(星槎道都大学) 佐々木智城(星槎道都大学) 大島 康雄(星槎道都大学) 吉江 幸子(星槎道都大学)	1,560 千円
2.	食育プログラムに重点をおいた保幼小接続期のスタートカリキュラムの開発と実践	科研費	○田中るみこ(中村学園大学) 新井しのぶ(中村学園大学) 井手 友美(九州大学)	2,990 千円

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2018～2022	社会福祉法人和聖会 みらい保育園 園内研修	研修講師
2.	2018.8	教員免許更新講習講師	研修講師
3.	2018～2021	保育士等キャリアアップ研修 北九州市福祉事業団	研修講師
4.	2018～2019	保育士等キャリアアップ研修 久留米市保育協会	研修講師
5.	2021～現在に至る	社会福祉法人吉野福祉会 園内 研修講師	研修講師
6.	2022.11	宗像市保幼小連携研修	研修講師
7.	2019～2020	保育所における自己評価ガイド ライン【改訂版】(試案)の試行 検証に関する調査研究事業 厚生労働省	調査協力委員
8.	2020～2021	保育所における自己評価ガイド ライン周知・広報事業 全国研 修講師 厚生労働省	研修講師
9.	2022～現在に至る	北九州市児童福祉施設等第三者 評価専門委員	第三者委員
10.	2022～現在に至る	北九州市児童福祉施設等第三者 評価 評価項目検討委員	検討委員
11.	2024～	NPO 法人光楽園 保育アドバイ ザー	外部アドバイザー
12.	2023～	中村学園大学発達支援センター 学外研究委員	学外研究員
13.	2025～	NPO 法人光楽園おひさまいつ ぱい光楽園	副園長

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

※該当なし（2024 年度入職）